



## JCL BANK LEAGUE 2021 Round3 宇都宮ステージ

期間：2021年8月18日(水)  
開催地：栃木県宇都宮市 宇都宮競輪場  
出走チーム：6チーム トーナメント制



Team UKYO SAGAMIHARA としてはバンクリーグ別府に続くバンクリーグ参戦2回目となりました。他にはない独自のルールと普段走り慣れない競技場内での走行ということで苦戦した前回の経験をもとに、優勝を目指しての参戦です。

小石祐馬、小山智也、宇賀隆貴、横塚浩平、吉岡直哉、石原悠希の6名がエントリーしその中から4名が各レースに出走します。

スタッフが到着した頃には雨も止み、選手たちがバンクを試走する頃には路面もドライになり気温もそれほど高くなく良いコンディションでレースに挑むことができました。

前回の別府競輪場は一周400mだったのに対して宇都宮競輪場は500mと長く、バンクの角度や高さが緩く展開的におとなしくなる事が予想されました。

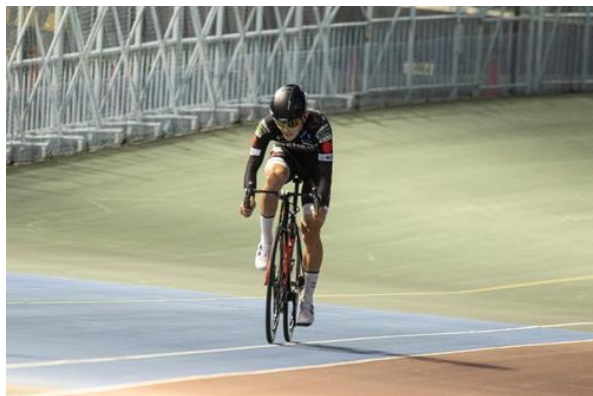


**予選1回目**は静岡のチームと対戦になります。

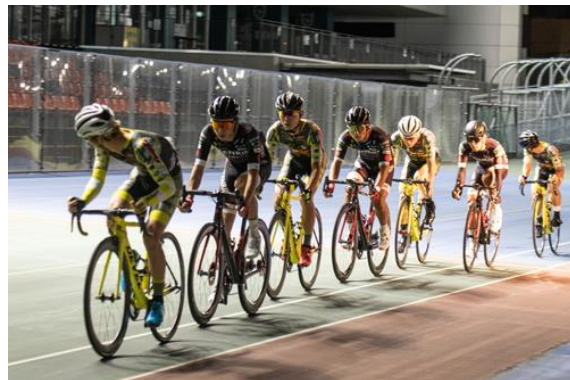
予選2勝で決勝へ駒を進める事ができるので決勝のメンバーはこの時点では決めず  
まずは予選2戦を考慮し小石、吉岡、小山、石原の逃げでポイントを取り終盤でもス  
プリントできるメンバーで挑みます。



スタートして半周を過ぎたところから小石選手がアタック、相手チームも1名が反応しこの2名が先行します。後方集団は様子見でペースダウンし牽制します。3周回終了時の最初のポイントの小石選手が先取します。しかしこのスプリントによって上がった先頭のスピードは牽制していた後方集団を周回遅れにしていまいます。敵味方関わらず周回遅れは失格となり、後方集団の6人が全員失格となります。先行した2名ではこれ以上のポイントシステムが機能しない為、その場での持ち点で勝敗が決まり、Team UKYO SAGAMIHARA の勝ちとなりました。



**予選2回目**は福岡のチームと対戦です。スタート直後から横塚選手と相手選手の2名が先行するもすぐに吸収します。その後、石原選手が抜け出すも最初のポイントを取ります。2周後のポイント周回は集団が一塊になっていたためスプリントができる小山選手が大外から捲りポイントを取得し1対1の同点となります。直後に横塚選手が飛び出し独走を開始、独走状態で横塚選手がチーム2ポイント目を獲得します。最後はチームプレーが機能して最終コーナーで先行した横塚選手は吸収されるも小山選手がカウンターを仕掛けてそのまま3ポイント目を獲得しました。  
予選2勝で決勝へ駒を進めます。



決勝戦は地元の宇都宮ブリッツェンを破って勝ち上がってきた那須ブラーゼンとの対戦です。

スタートから2周ほどすると横塚選手と相手チーム1名が先行しお互いに2ポイントづつ獲得します。最後はこの2名以外でのゴール勝負になります。

残り半周で相手選手に包囲される状況から小石選手が小山選手を引き上げリードアウトを開始しスプリントになります。2対1で有利な状況になるも相手選手がスプリントで伸びがよく僅差で最終ポイントを奪取されてしまいました。

最後は僅差でしたがこのバンクリーグ第3ステージは準優勝で終わりました。



### 大西SDのコメント

2回目のバンクリーグはチームとして感覚を掴んで参戦する事ができました。決勝のスプリントでは選手内でもスプリントの運び方に課題が見つかったようで、普段のロードレースやクリテリウムに活きる学びが有ったので良い経験になりました。

今回は無観客開催となりましたが、会場で見るといつもと違う迫力をぜひ直接体験してもらいたいイベントだと思います。

応援ありがとうございました。